



笑顔輝く新居浜人を紹介

漫才の相方はロボット

vol.77

新居浜工業高等専門学校 ロボコンDチーム(電子制御工学科)

新居浜高専電子制御工学科の学生が昨年11月、オンラインで開催された「アイデア対決・全国高等専門学校ロボコンテスト2020(通称:高専ロボコン)」の全国大会に出場し、人間と漫才をするロボットで特別賞に輝きました。

チームが会場。今回は「誰かをハッピーにするロボット」という課題で、発想力や独創性を競いました。

コロナ禍で休校になり、オンライン会議で案を練ったというメンバー。チームリーダーの福田裕也さん(4年)は「話し合いながら実際に物を動かさない。先にアイデアを出し、制作を始めるのが難しかった」と振り返ります。

漫才ロボットは、ツッコミ役を務めた菊池崇太さん(3年)が発案。ネタ作りも担当し、「ぼくたち『ロボコンス

大会には全国から26校28



左から高須柊太さん(2年)、菊池さん、東雲八雲、福田さん、東祐貴さん(3年)。高須さんと東さんは裏方としてサポート



テンポ良く掛け合いをする「2人」

ト』だから書ける漫才を意識した」と菊池さん。いくつか用意した中から自信作に絞り、メンバー全員で完成度を高めていきました。

ロボットは「東雲八雲」と命名。菊池さんが話す文末のキーワードを認識すると、それに対応した音声データが再生される仕組みです。大会では、ドライブに行きたいという菊池さんに、東雲八雲が新居浜高専までの道のりをナビするネタを披露しました。

発表後には、特別ゲストでお笑いコンビ「アンガールズ」の田中卓志さんが「ネタも良かった。ロボットの首が内側に傾くのも、漫才の雰囲気が出ていた」と絶賛。「人生に最短経路なんて存在しない」という東雲八雲のボケも好評でした。

決勝進出は逃したものの、多くの観客を笑顔にした点などが評価され、田中貴金属グループの特別賞を受賞。驚きと喜びの一方、メンバーが狙っていた「アイデア賞」を逃した悔しさも。「来年は納得がいく結果を出したい」とリベンジを誓いました。

広告欄

広告掲載については、ソネ デザインスタジオ (☎ 0897-33-5721) へお問い合わせください。